

株式会社 sMedio

デジタル TV 録画機器にインターネット経由のリモート視聴機能を追加する
sRAS (sMedio Remote Access Solutions)(仮称)の販売を開始

～ デジタル TV のモバイル端末へのリモート視聴機能
ならびにサービスの実装を短期間で実現可能に。
再生クライアントは Android™, iOS, Windows®に対応 ～

株式会社 sMedio (本社:東京都中央区, 代表取締役社長 田中俊輔 東証マザーズ: 3913)は、家庭用セット・トップ・ボックス(STB)等に、デジタル TV を宅外からインターネット経由で視聴する機能(リモート視聴)を追加できるミドルウェアおよびクラウド・サービス製品「sRAS (sMedio Remote Access Solutions)」(仮称、以下「sRAS」)の販売を5月19日より開始しました。

これにより、デジタル TV レコーダー、ケーブル TV STB など、デジタル放送の録画再生機器を提供するハードウェア・ベンダーは、リモート視聴サービスの構築に必要な機能をトータル・ソリューションとして利用することができ、短期間での実装・サービス開始が可能になります。

<sRAS について>

「sRAS」は、リモート視聴サービスの開発・提供に必要な組み込みサーバー用ミドルウェア、再生アプリ用開発キットと、高い接続性を実現するクラウド・サービスを一括して提供します。「sRAS」には以下が含まれます。

- デジタル録画機器にリモート視聴サーバー機能を追加する DMS(デジタル・メディア・サーバー)^{※1} コンポーネント(Linux、Android 対応)
- Android、iOS、Windows ベースのモバイル機器でリモート視聴アプリケーションを開発するための DMP^{※2}(デジタル・メディア・プレイヤー)コンポーネント
- 機器同士のペアリング設定を行うためのモジュール
- インターネット経由での接続を行うためのリモートアクセス・ゲートウェイ・モジュール
- 家庭用ルーターなどの NAT/NAPT^{※3}(ネットワーク・アドレス/ポート変換)を越えた接続を可能にする STUN/TURN^{※4}クラウド・サーバー

コンテンツ保護、機器間の接続方法については一般社団法人 次世代放送推進フォーラム(NexTV-F)^{※5}による“デジタル放送受信機におけるリモート視聴要件”、および一般社団法人 デジタルライフ推進協会(DLPA)^{※6}の“リモートアクセスガイドライン”に準拠しています。

代表取締役社長 田中俊輔は、本製品について「sMedio のワイヤレス・コネクティビティ及びデジタルメディア技術を活用いただける“トータル・ソリューション”の提供開始を第一歩とし、通信・放送サービス分野の市場も開拓していく予定です。」とコメントしています。

(※1) DMS(Digital Media Server): Digital Living Network Alliance(DLNA[®])ガイドラインで規定された、映像、音楽、静止画などのコンテンツを保存・配信する機能。

(※2) DMP(Digital Media Player): DLNA ガイドラインで規定された、サーバー(DMS)のコンテンツを受け取り、再生するプレイヤー。

- (※3) NAT (Network Address Translation): インターネットプロトコルによって構築されたコンピュータネットワークにおいて、パケットヘッダに含まれる IP アドレスを、別の IP アドレスに変換する技術。
NAPT(Network Address Port Translation): NAT による IP アドレス変換に加え、ポート番号を変換し、インターネットプロバイダから割り当てられたグローバル IP アドレスを、プライベート IP アドレスを持つ複数の端末で共有できるようにする技術。
ブロードバンドルーター・WiFi ルーターなどで利用されています。
- (※4) STUN(Simple Traversal of UDP through NATs): RFC(Request for Comments) 3489 で標準化されたプロトコル。双方向 (Peer to Peer)通信を行うアプリケーションにおいて、NAT の存在と種類を発見し、接続に必要なグローバル IP アドレスとポート番号を得ることができます。動作には、インターネット上に STUN サーバーが必要です。
TURN(Traversal Using Relay NAT): RFC 5766 として標準化されたプロトコル。NAT 機器などの種類、設定によって Peer to Peer 通信が確立できない場合でも、TURN サーバーで通信を中継することにより双方向通信を可能にします。動作には、インターネット上に TURN サーバーが必要です。
- (※5) 一般社団法人 次世代放送推進フォーラム、Next Generation Television & Broadcasting Promotion Forum(略称: NexTV-F)は次世代放送サービスに関する技術仕様の検討、検証、評価、実用化に向けた実証・試行的な放送、サービスの開発、普及、利用促進、周知広報 などを行う一般社団法人です。株式会社 sMedio は社員 B として NexTV-F に参加しています。
- (※6) デジタルライフ推進協会/Digital Life Promotion Association(略称:DLPA)は、デジタルコンテンツ使用の利便性を高める目的で 2010 年 2 月に設立された一般社団法人です。株式会社 sMedio は DLPA に正会員企業として DLPA に参加しています。

以上

- ・Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- ・Linux は、Linus Torvalds 氏の日本及びその他の国における登録商標または商標です。
- ・IOS(iOS)は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・Android は、Google Inc.の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- ・DLNA は、Digital Living Network Alliance の商標です。

株式会社 sMedio について

株式会社 sMedio は Blu-ray プレーヤー、デジタル TV、ホームネットワーク、リモートアクセス関連の技術開発に実績があり、現在は、PC やスマートフォンなどのスマート・デバイス向けマルチメディア・ソフトウェアとネットワークの分野に活動領域を広げ、先進の技術でワイヤレス・コネクティビティの実現に貢献しています。

[東京証券取引所マザーズ 証券コード 3913]

報道関係の問い合わせ先

株式会社 sMedio URL <http://www.smedio.co.jp/company/>

担当:馬場・岩本 e-mail: press@smedio.co.jp TEL:03-5299-9300 FAX:03-5299-9306

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-9-4 Daiwa 日本橋本町ビル 10F